

研修会のご案内

日本福祉文化学会顧問：藺田 碩哉さんをお招きして…

「関係力をみがくトレーニング」

今回、「私空間」主催「日本福祉文化学会関西ブロック」共催で、講師に日本福祉文化学会顧問：藺田 碩哉さんをお迎えし、「関係力をみがくトレーニング」というテーマで研修会を開催いたします。福祉職のみならず、一社会人としておおいに役に立つ研修であることは間違いありません。

今回の研修会の趣旨を、藺田さんは次のように語っていらっしゃいます。

「福祉サービスの土台は「人と人のかかわりを豊かにすること」にあります。制度を整え、予算を付け、専門家を配しても、この土台が無視されていたのでは、豊かな福祉を実現することはできません。

この研修会では、人と人の関わりを豊かにする力を『関係力』として捉えなおし、自らの関係力の現状に気付き、それを広げ、高め、深めていく方向と方策を、参加者同士のワークを通じて追求することを目指します」

* 藺田さんのプロフィール

(財)日本レクリエーション協会でレクリエーション運動に携わり、実践女子短大教授として余暇論、遊戯論を軸に、福祉レクリエーションやコミュニティ活動の研究を続け、著書多数。近年は余暇と政治的自由の関わりを論じている(『余暇という希望』2012年)。日本福祉文化学会を一番ヶ瀬康子会長とともに創設、長く副会長を務め、現在は顧問。2016年6月に学会が反安保声明を出した折には宣言文の起草に関わった。地域で反原発、反安保の活動を続けている。

研修会は下記のようなユニークなプログラムで展開します。演習を多く取り入れますので参加人数は20名とさせていただきますのでご了承ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

<プログラム>

- ・日 時： 2017年7月8日(土) 13:00～16:45
9日(日) 10:00～16:45
- ・場 所： 茨木市市民総合センター クリエイトセンター 302号室

【課 題】

- ①人と人はどうすれば分かり合えるか
- ②援助—被援助関係のもとで対等なコミュニケーションは可能か
- ③「支援しない」支援の方法はあるのか
- ④コミュニケーション・メディア(媒体)としての遊びとアートをどう生かすか
- ⑤福祉現場における「おもてなし」をどう進めるか

【講座の日程】

8日(土) 13:00~16:45 講義&ワークショップ

- ・エンカウンター(出会い)の時間 (体験)
- ・他者の話に耳を傾ける—ナラティブ・アプローチという方法(講義と演習)
- ・遊びとアートを生かしたコミュニケーション実習

*** 17:30~20:30 関係力倍増懇親会**

9日(日) 10:00~16:45 講義&ワークショップ

- ・あなたの「関係力」を診断する (チェックリストによる自己診断)
- ・《講義と事例紹介》
関係力を高めるソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の活用
- ・《グループ討論》
おもてなし(ホスピタリティ)は何を目指すのか—その考え方と進め方
- ・おもてなし交歓パーティ(実習)

・定員:20名(両日ともに) *2日連続でも、どちらか1日の参加でも可です。

・参加費:8日(土)のみ 1000円
9日(日)のみ 2000円
両日 2500円

・申込み締切日; 20名になり次第、締切とさせていただきます。

・懇親会; 「はなせ」 4000円程度

・申込先:講座の参加日と懇親会への出欠を下記のメールアドレスへお申込み下さい。

h-watashi.4.25[アットマーク]leto.eonet.ne.jp 岡村ヒロ子

迷惑メール防止のため、メール送信の際は[アットマーク]を@に変更して送信してください。